

平成29年第3回（9月）上越市議会定例会

総務常任委員会資料【所管事務調査】

地方創生の取組状況について

目次

○地域再生計画 テーマ1 「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』	1
○地域再生計画 テーマ2 「雪室・利雪による地域産業イノベーション」	2
○「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」事業推進計画	3～4

- 歴史的市街地であり、都市機能が集積する城下町高田においては、現在20余りの市民団体が歴史・文化をいかしたまちづくり活動を実施するとともに、特徴的な2つの100年建築(映画館、料亭)の魅力が見直され始めている。
- これらのまちづくり機運の高まりを受け、市では、地方創生加速化交付金を活用しつつ、地方創生に向けた各種取組を一体的に推進した。
- さらに、地域再生計画の認定を受け、地方創生推進交付金の活用により、市と民間団体が協働で街なか居住の促進や交流人口拡大を目指す各種取組を一体的に推進した。

(単位:千円)

平成28年度に実施した事業 75,432

■ 地方創生加速化交付金関連 51,982

<1 街なか居住の促進>

- ・ 城下町の町割りをいかした土地の利用促進基礎調査 6,462
- ・ 町家を活用した学生用のシェアハウスの整備 31,187
- ・ 景観形成計画策定に向けた調査 1,939

<2 誘客・回遊の強化>

- ・ 「100年映画館のあるまち」誘客・回遊強化事業 4,990
- ・ 「100年料亭のあるまち」誘客・回遊強化事業 2,300
- ・ 町家ビジネス創出促進事業 5,104

■ 地方創生推進交付金関連 23,450

<地域再生計画の概要>

計画期間:H28~H32

計画の目標:「住んでみたいまち、訪れてみたいまち」の実現
コンパクトシティによるまちづくりの推進

<地域再生を図るための事業内容>

1) 街なか居住の促進

- ・ 城下町高田の町割りをいかした居住促進(河川水加温消雪パイプ検討業務委託) 3,348

2) 街を支える経済基盤の強化

- ・ 街なか回遊拠点エリア及び拠点施設の整備(高田小町駐車場整備) 6,985
- ・ ビジネスタウン高田の推進(テレワーク実証事業委託) 5,127

3) 街に活力を生み出す新しい交流の創出

- ・ 地域間交流の促進(まちづくりワークショップ事業補助金) 700

4) 多様な担い手の連携・協働を促進するプロジェクトマネジメント

- ・ 事業推進計画の策定 7,290

■ 主な成果

<社会実験に向けた町家の改修(シェアハウス)>

- ✓ 事業内容:若者のまちなか居住を通じた地域活性化、空き家となった町家の市場流通・利活用方策の検討を目的としたモデル事業として、大正時代の町家を学生向けシェアハウスとして改修
- ✓ 成果:町家改修における課題の把握 等



改修後に実施した学生参加ワークショップの様子(H29.5)

<百年料亭ネットワーク構築への支援>

- ✓ 事業内容:全国の料亭と連携しつつ、100年料亭の魅力等のブランド力をいかした誘客活動を行い、街なかの賑わい創出に取り組む。
- ✓ 成果:全国18の料亭による百年料亭ネットワーク設立

<100年映画館を活用した誘客・回遊のしくみづくり>

- ✓ 事業内容:広域的誘客イベントの開催 等
- ✓ 成果:来館者数の増加

<高田小町第2駐車場の整備>

- ✓ 事業内容:マイクロバスが駐車可能な駐車場を整備
駐車台数 6台(402㎡)
- ✓ 成果:来街者、施設利用者の利便性の向上



評価指標 (KPI)

指標	事業開始前	目標値 (H29.3末時点)	実績値	評価
高田区の人口の社会減の解消数 (H22~H26の平均値△192人/年からの削減数) (単位:人/年)	0人	4人	150人	・ KPIを達成 ・ 計画どおり推進する。
高田区の街なかの観光客入込数 (単位:人/年)	228,971人(H27)	246,800人	259,300人	・ KPIを達成 ・ 計画どおり推進する。
新たに入居した空き家、空き店舗の数 (単位:件/年)	1件(H27)	1件	3件	・ KPIを達成 ・ 計画どおり推進する。
事業エリアにおける歩行者数(平日・休日の平均値)	515人(H27.5)	540人	464人	・ 継続的な取組が必要

- 雪国ならではの食文化・技術をいかし、雪室商品と雪下・雪室野菜の高付加価値化による産業の振興、さらには観光誘客や雪国文化の継承、地域愛の醸成につなげる。
- これらの取組の基盤づくりとして、地方創生加速化交付金を活用し、雪室商品及び雪下・雪室野菜の生産体制の強化とともに、推進組織の取組を支援した。
- さらに、地域再生計画の認定を受け、地方創生推進交付金を活用し、推進組織による雪室商品等の販路開拓・拡大に向けた取組を支援した。

平成28年度に実施した事業 50,413

(単位:千円)

■ 地方創生加速化交付金関連 37,849

<1 雪室商品の開発・生産体制の強化>

- 1) 雪室商品の開発促進
 - ・ 雪室商品の開発支援 747
- 2) 雪室の整備・調査
 - ・ 雪室の改修整備、物品等購入 20,509
 - ・ 雪室の活用例・整備方法の調査 700

<2 雪下・雪室野菜の生産・販売の拡大>

- ・ 雪下・雪室野菜の生産拡大の取組支援 10,083

<3 推進組織「雪室推進プロジェクト」の活動、PRの強化>

- ・ 推進組織による雪室商品等の市内PRイベントの実施、ホームページ構築の支援 4,559
- ・ 市と推進組織との連携による雪室商品等の首都圏PRイベントの実施等 551
- ・ 推進組織の事務局運営の支援 700

■ 地方創生推進交付金関連 12,564

<地域再生計画の概要>

計画期間:H28~H32

計画の目標:・雪室商品等の高付加価値化、販売拡大による産業振興
・観光誘客の拡大 ・雪国文化の継承や地域愛・誇りの醸成

<地域再生を図るための事業内容> 12,564

- 1) 雪室商品等の市場開拓・拡大
 - ・ 推進組織による雪室商品及び雪下・雪室野菜の市場ニーズ調査、テスト販売等の取組支援
- 2) 推進組織の強化
 - ・ 組織体制の強化、今後の事業展開の検討

■ 主な成果

<雪室商品の開発促進>

- ✓ 事業内容:食品事業者による雪室商品の開発に要する経費の一部を補助
- ✓ 成果:6事業者が商品化

<雪下・雪室野菜の生産・販売の拡大>

- ✓ 事業内容:JAえちご上越による生産拡大に必要な種苗や農業機械、雪室貯蔵用の資材の購入経費を支援
- ✓ 成果:・生産面積の増加(3.4ha)
・販売額の増加(27,250千円)

<推進組織「雪室推進プロジェクト」の取組>



謙信公祭で雪冷房の「雪室カフェ」の出店



ホームページ、フェイスブックで魅力発信



市内飲食店10店舗と連携したグルメフェアの実施



首都圏等でのPR、市場ニーズ調査、テスト販売

<雪室の整備>

- ✓ 事業内容:遊休施設(旧安塚ほのぼの荘)の冷房用雪室を冷蔵用に改修
- ✓ 成果:事業者が開発した商品の生産・増産が進展



雪室の外観



雪室の内部

評価指標(KPI)

指標	事業開始前	目標値 (H29.3末時点)	実績値	評価
推進組織に参加する食品事業者・農業者の年間売上額(合計額:推計値)(単位:千円)	7,664,000千円 (H24経済センサス)	7,740,000千円	7,848,030千円	・KPIを達成 ・事業者、農業者等の連携や販路開拓の取組を促進し、一層の増加を図る。
雪下野菜及び雪室で貯蔵した野菜の年間販売額(加工品を含む)(単位:千円)	10,062千円 (H26)	25,000千円	27,250千円	・KPIを達成 ・計画どおり推進する。
雪室を利用した商品販売や集客を行う市内直売所・レストランの年間入込客数(単位:人)	99,600人 (H27)	147,000人	120,017人	・雪室商品等とともに、雪国・雪室の魅力を一括で発信し、誘客促進を図る。

「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」事業推進計画

～歴史・文化資産を活用した街なか回遊観光に向けて～

○ 本計画は、地域再生計画『城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』』に関する取組の一つである「街の経済基盤の強化」に向けて、高田市街地における各エリアの役割や整備構想を整理するとともに、市所有の歴史的建造物の活用など、街なか回遊観光に資する事業推進方策を取りまとめたものである。

■ 概要

- 1 位置付け
地域再生計画に基づき、城下町高田の歴史・文化に着目し、国の支援策を活用しながら、分野横断的・重点的に事業を推進するための任意計画
- 2 主な内容
街なか回遊観光を軸とした事業推進方策 等
○ 拠点エリアの整備構想【方策1】
○ 市が所有する歴史的建造物の整備構想【方策2】

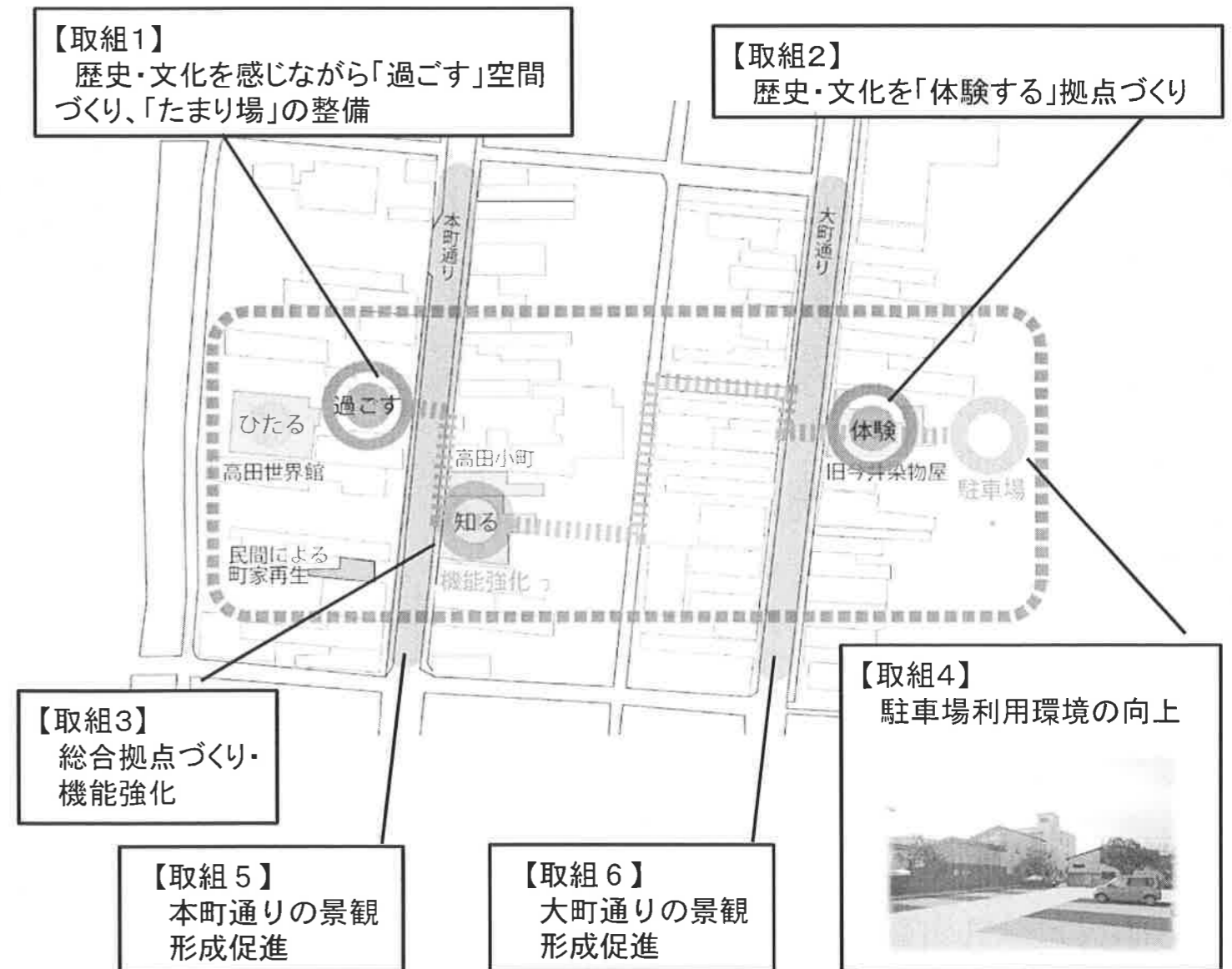
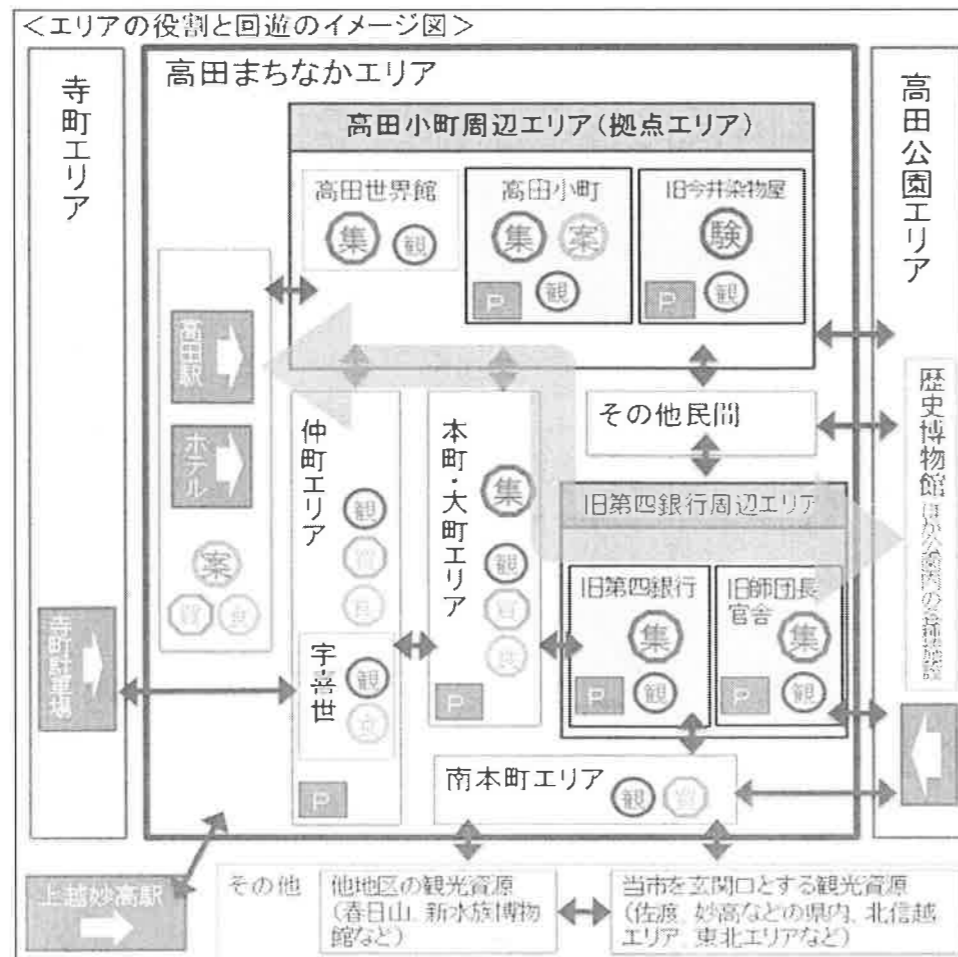
■ 街なか回遊観光に向けた基本方針

- 3 基本方針
 - (1) 基本方針
・ 半日程度滞在できる「観る、買う、食べる、体験する」の要素を強化 等
 - (2) まち歩きルートの設定
・ まち歩きのメインルート：高田駅～本町商店街～高田公園
 - (3) 誘客ターゲットの設定
・ 市民全般
・ 雪国や歴史・文化に興味がある人(県外)
・ 宿泊客やビジネスマン
・ 広域観光客 等

■ 【方策1】拠点エリアの整備構想(案)

【整備コンセプト】

- ① 高田の歴史・文化を楽しめる魅力的な「目的地」づくり
- ② 拠点エリア内外の「回遊性」を高める利便性の向上
- ③ 歴史・文化をいかしたまちづくりの「シンボル」となる景観形成の促進



■【方策2】歴史的建造物の整備イメージ(案)

旧今井染物屋

1 役割

拠点エリアの各施設と連携してエリアの魅力を高める施設

2 具体的な整備イメージ

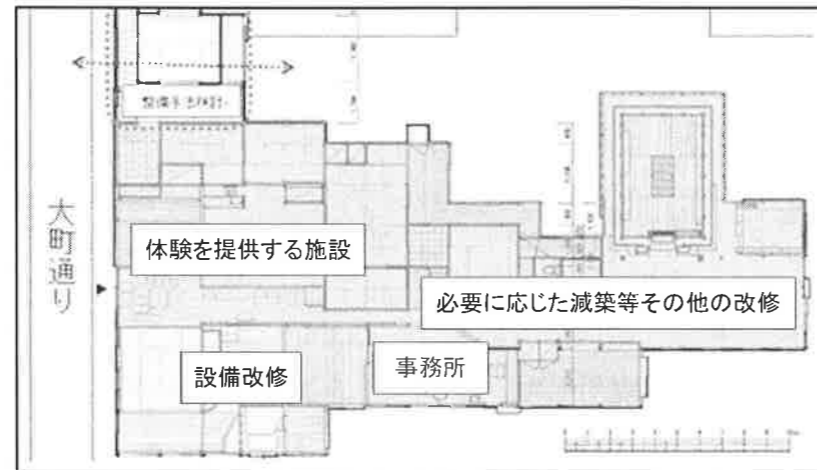
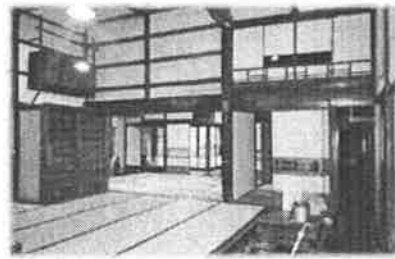
(1)用途:体験施設 ※事業化に向けて、民間企業・団体へのヒアリングを行う予定

(2)整備内容:内装・設備改修 等

(3)参考事業費:最大約201,000千円 ただし、耐震等の調査によりコスト縮減の検討を行う。

3 活用に向けた進め方

常時営業を行う工房や加工場を併設した体験コンテンツの提供を行い、日常的な受入れを目指す。



旧師団長官舎

1 役割

凝洋風建築の魅力をいかした市民憩いの場

2 具体的な整備イメージ

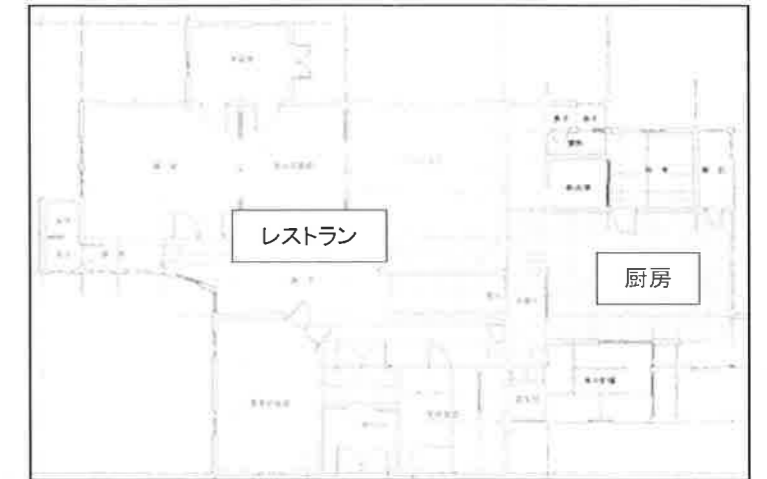
(1)用途:レストラン、集会機能

(2)整備内容:厨房設備、電気設備等の改修、外壁・屋根改修等

(3)参考事業費:約34,000千円

3 活用に向けた進め方

民間からの事業提案方式によるレストラン運営を目指す。



高田小町

1 役割

歴史・文化をいかした総合拠点(中核施設)

2 具体的な整備イメージ

(1)用途:物販施設

(2)整備内容:物販機能等を拡充する改修

(3)参考事業費:約3,000千円

3 活用に向けた進め方

物販予定スペースでまちづくり活動を行う可能性がある団体との調整



旧第四銀行

1 役割

商店街の日常的なにぎわい創出のための施設

2 具体的な整備イメージ

(1)用途:集会施設

(2)整備内容:防火施設改修、防水・外壁工事等(用途変更に対応)

(3)参考事業費:105,536千円(平成29年3月補正)

3 活用に向けた進め方

商店街との連携により、集客施設として、街なか回遊・にぎわい創出につなげる。



金津桶屋

活用方策は、引き続き検討を進める。

※参考事業費:最大約65,000千円(耐震補強・設備改修)



※事業費・整備内容等については、あくまでも参考であり、今後変更になる可能性があります。